

病児室たより

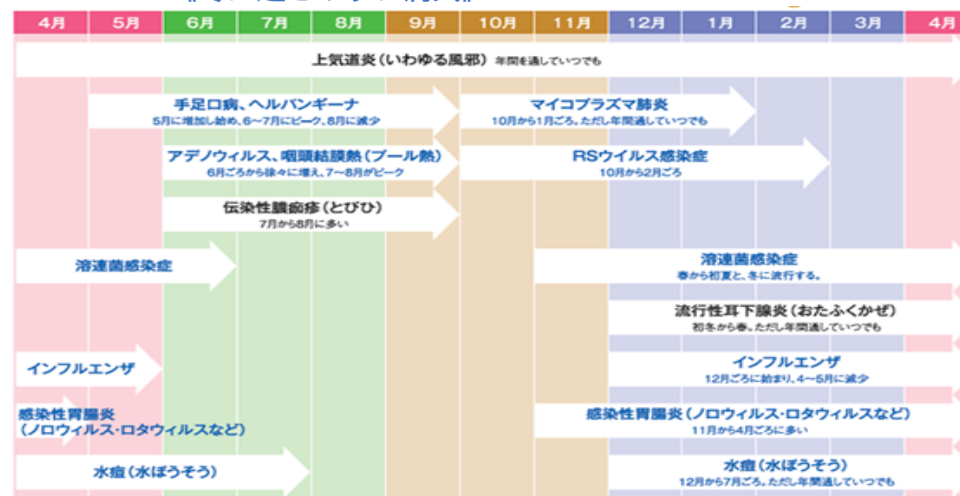
R3・



特定非営利活動法人オープンハウスこんぺいとう

病児室 TEL 29-2301

《冬に起きやすい病気》



今年の雪の様は、昨年とはうって変わり、生活を脅かす勢いです。合わせ、コロナウイルス感染が、終息せず毎日の暮らしの中で、様々な不安を抱えています。皆で感染を意識し、基本となる3密・マスク・消毒を実行し、自分も相手も健康であり続けながら、子供たち皆が健康で元気に過ごせるよう、見守っていきたくと思います。どうぞ今年も病児室をよろしく願いいたします。



《子供のコロナ感染予防》

新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、発症(症状が出た時)の2日前から発症後7~10日間程度とされています。※また、この期間のうち、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられています

1・子供のマスク 参考文献=松永展明医師(国立国際医療研究センター病院/小児科専門医/感染症専門医)

マスクが予防の一つとされていますが、ウイルスの着いた手で顔を触っては予防にはなりません。又、感染している人が、咳やくシャミの飛沫で相手の目や鼻、口の粘膜に付着し感染する場合があります。その様な事から、子供は特にマスクを取ろうとして、顔を触ったりする事で逆にリスクが高まることも考えられています。又2歳未満の子供にマスクを着けるのは、窒息のリスクもあり推奨されていません。そのため、手洗いうがい(口をゆすぐ程度でも)顔を拭く事が予防になります。

2・子供にアルコールはどうなの？

子供は特に、アルコールで、手が荒れたりアレルギー反応が出たり、特異症状を起こす事もあります。薬剤でなく石鹸での手洗いが有効です。

3・子供がなかなか手を上手に洗えない

親子で、「きらきら星やゾウさん」などの短い歌を歌いながら、泡立て一緒に洗ってみたり、子供の手に「ばい菌」の絵をかいて手洗いの練習はどうでしょう。

♪ 「キラキラひかる～」



今年は、コロナ感染予防策から、他の感染予防にも役立ち、発症率が少なくなっています。常日頃の消毒と手洗い・うがいが大切のようです。



《3つの首を温めよう!!》

昔から「風邪は首からひく」と言う言葉があるように、首・手首・足首が冷えると、体全体が冷え、風邪をひきやすくなります。首には、タートルネックやマフラー、手首には手袋・足首には、靴下やレッグウォーマーを着用して保温し、血行を良くしましょう。一方熱が出たときは、この3ヶ所を冷やすと効果があります。もちろん水分補給は、欠かせません。

毎月第3金曜日・地域食堂開催(フリースペースまちかどカフェたまりば)

コロナ禍のため弁当配布 **2月19日・17:30~18:30**

子供無料 高校生(15~16歳) 以上300円

前日までの予約制 080-3144-3009

12月11日~1月の利用状況

12月 = **3名**急性胃腸炎・気管支炎 1月 = **5名**風邪・咽頭炎